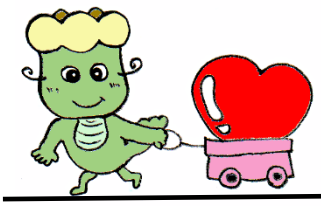
令和３年度事業報告書



社会福祉法人　竜王町社会福祉協議会

【総括報告】

令和２年度から続く新型コロナウイルス感染症は収束することなく令和３年度も続きました。そのため、様々な事業が中止や縮小を余儀なくされ、感染症の拡大と収束を繰り返すなかで社会、経済活動の停滞が長期化した１年でした。

その中にあっても新たな生活様式のなかで社会活動を取り戻していこうと試行錯誤する１年でもありました。

竜王町においても社会福祉協議会が善意銀行の助成として感染対策用としてパーテーションの助成を行い、このパーテーションを使用してコミュニティカフェを実施した地区もありました。

また、新型コロナウイルスは人が集まることにより感染のリスクが高まることから、オンラインカフェを試行的に実施し、社会福祉協議会としてその開催を支援しました。

令和３年度新たな取り組みとして、民生委員児童委員協議会との協働事業として竜王中学校での福祉学習を実施しました。民生委員児童委員の活動を紹介するとともに竜王町の現状や福祉課題を知り、自分たちにできることを考えるきっかけとなりました。

地域福祉活動の推進については、地域福祉ブロック別懇談会を２年ぶりに開催し、区長、民生委員児童委員、福祉委員の３者が集い、地域での活動や課題について、情報交換を行いました。

地域福祉活動計画については、現行計画は３年目を迎えました。コロナ禍で十分な活動が行えなかった側面もあります。

また、次期計画を行政計画である地域福祉計画と一体的策定を進めるため、その作業を開始し、第１回策定委員会を開催しました。令和４年度完成に向け、その作業を進めていきます。

この報告書において、令和３年度の活動を振り返り、成果や課題を明らかにし、令和４年度につなげていきたいと思います。

【重点的取り組みの評価】

１　生活困窮者の自立支援

新型コロナウイルス感染症による経済状況の悪化により、困窮状態になる方の増加が顕著にあります。新型コロナウイルスの特例貸付が継続され、その相談対応を行いました。

また、県から生活困窮者自立相談支援事業の委託を受けて事業を実施し、ハローワーク等と連携して相談対応を行いました。

特例の資金貸付を受けておられる方の状況を聞き取り、15歳以下の子どもさんのいる世帯に食糧支援を実施しました。

２　ひきこもりなど生活のしづらさをもつ人たちへの支援

竜王町健康推進課、発達支援課など関係機関と連携し、ひきこもりの実態や現状について情報共有や検討を行うとともに、社会参加にしづらさのある方が就労や社会体験の場を提供する仕組みづくりを行いました。

コロナ禍であり、就労体験の相談が３件あり、うち２件を体験につなげました。コロナ禍であり、ケースとしては少ないケース数でしたが、この取り組みを継続し、社会参加しやすい環境づくりを行っていきたいと考えています。

３　サービスラーニングの導入による小中学校の福祉学習の推進

社会福祉協議会では小学校、中学校と連携しながら、地域福祉をキーワードに自分の地域を知る取り組みを行いました。

特に、令和３年度は竜王中学校において民生委員児童委員協議会と連携して福祉学習を進めました。地域のなかで民生委員児童委員の活動を知ってもらう機会となりました。

「プチどら★にこにこプロジェクト」の活動は、オンラインによる交流でしたが取り組みを継続することができました。

４．SNSを導入した地域づくり

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中で、地域のつながりづくりを絶やさない方法の１つとして、SNSを使ったつながりづくりを試行しました。

小口地区において、オンラインカフェを開催し、そのサポートを社会福祉協議会が行いました。この取り組みは回想法を取り入れることで、介護予防と絡めた取り組みとなり、今後の見守り、つながりあい、介護予防など、あらゆる面から地域づくりをサポートするツールになり得ることから、小口地区での取り組みをモデルとし、令和４年度からは他地区への拡大を図ります。

５　人材の育成と人事考課に向けた取り組み

職員自身と上司がそれぞれ評価を行い、照合、すり合わせを行う中で、これからの職員自身の強化するべきところ、自己啓発のポイントを明らかにしていくため評価の指針となるチェックリストを作成しました。

令和３年度については、自己評価にとどまり、面談の実施はできませんでしたが、自己を振り返る良い機会となりました。

令和４年度は、早期に面談を実施し、新たな目標を設定し、その目標に取り組めるようこのシートを活用してしていきます。

【事業実施報告】

Ⅰ．法人組織・事務局機能の強化

民間の社会福祉法人として、次の会議を開催し、透明性のある法人運営に努めました。

■法人運営機能の充実

（Ⅰ）理事会

開催日	議事内容
令和３年 ６月　４日	①令和２年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業報告の承認について ②令和２年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会会計決算の承認について ③令和３年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会会計補正予算(案)の承認について ④社会福祉法人竜王町社会福祉協議会理事候補者の推薦について ⑤社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員候補者の推薦について ⑥令和３年度定時評議員会の日程および内容について
６月２２日	①社会福祉法人竜王町社会福祉協議会会長、副会長および常務理事の選出について ②社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員選任･解任委員会委員の選任について
７月２９日	①「社会福祉法人竜王町社会福祉協議会表彰規程」の全部改正について ②「社会福祉法人竜王町社会福祉協議会表彰選考委員会取扱要綱」の一部改正について ③「社会福祉法人竜王町社会福祉協議会労務職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程」の一部改正について
９月２８日	緊急事態宣言発出のため中止
１１月１６日	①専決処分の承認を求めることについて （社会福祉法人竜王町社会福祉協議会労務職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正） ②専決処分の承認を求めることについて （社会福祉法人竜王町社会福祉協議会表彰選考委員会取扱要綱の一部改正）
令和４年 １月２６日	①「令和３年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会養育支援金実施要領」の策定について

３月２４日	①令和３年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計補正予算（案）について ②令和４年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業計画（案）について ③令和４年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計予算（案）について ④「社会福祉法人 竜王町社会福祉協議会職員給与規程」の一部改正について ⑤「社会福祉法人 竜王町社会福祉協議会職員就業規則」の一部改正について ⑥「社会福祉法人竜王町社会福祉協議会職員の職場におけるハラスメントの防止に関する規程」の制定について ⑦「社会福祉法人竜王町社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程」の一部改正について ⑧「福祉の町づくり運動推進地区助成金交付要綱」の一部改正について ⑨「職員の出向に関する協定書」の締結について ⑩役員等賠償責任保険の加入およびこれに伴う保険料負担（案）について ⑪令和３年度第２回社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員会の日程、場所および議題の承認について

（２）評議員会

開催日	議事内容
令和３年 ６月２２日	①令和２年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業報告の承認について ②令和２年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会協議会会計決算の承認について ③令和３年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会第１次補正予算の承認について ④第２４期社会福祉法人竜王町社会福祉協議会役員（理事・監事）の選任について
令和４年 ３月２９日	①令和３年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計補正予算（案）について ②令和４年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業計画（案）について ③令和４年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計予算（案）について

（３）監事会

開催日	内容
令和３年 ５月２４日	令和２年度社会福祉協議会事業執行状況および会計の監査

（４）会長・副会長等三役会議

開催日	内容
令和３年 ６月　１日	①令和３年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会補正予算について ②竜王町地域福祉活動計画策定委員会設置要綱の一部改正について ③竜王町共同募金委員会 審査委員会規程の一部改正について ④社会福祉法人竜王町社会福祉協議会役員(理事･監事)候補者について ⑤社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員選任候補者について ⑥竜王町共同募金委員会審査委員会委員の候補者について ⑦竜王町社会福祉協議会訪問介護員(正規)の募集と採用試験の日程について
１１月１２日	①専決処分の承認を求めることについて 「社会福祉法人竜王町社会福祉協議会労務職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程」の一部改正について ②専決処分の承認を求めることについて 「社会福祉法人竜王町社会福祉協議会表彰選考委員会取扱要綱」の一部改正について
令和４年 １月１９日	①「社会福祉法人竜王町社会福祉協議会多子配分金要綱」策定について
３月１４日	①令和３年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計補正予算について ②令和４年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業計画について ③令和４年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計予算について ④「社会福祉法人 竜王町社会福祉協議会職員給与規程」の一部改正について ⑤「社会福祉法人 竜王町社会福祉協議会職員就業規則」の一部改正について ⑥「社会福祉法人竜王町社会福祉協議会職員の職場におけるハラスメントの防止に関する規程」の制定について ⑦「社会福祉法人竜王町社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程」の一部改正について

	⑧「福祉の町づくり運動推進地区助成金交付要綱」の一部改正について ⑨「職員の出向に関する協定書」の締結について ⑩役員等賠償責任保険の加入およびこれに伴う保険料負担について ⑪令和３年度第２回社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員会の日程、場所および議題の承認について

（５）部門間調整会議

進捗会議等、他の会議の中で業務上課題となる事項について協議を行いました。

（６）財務・労務管理

令和３年７月から新たな税理士および社会保険労務士と委託契約を締結し、指導、助言を受け、適正な財務執行に努めました。

■部会・委員会機能の充実、強化

（１）法人運営部会

三役会議、進捗会議や理事会において対応したため実施していません。

（２）地域福祉推進部会

開催日	内容
令和３年 ７月　７日	①第３期地域福祉活動計画の進捗確認について 目標ごとに実施計画を基準として、前年度の事業実績から令和２年度の事業実績を比較し、令和２年度中の計画進捗状の確認と協議

（３）在宅福祉事業部会

令和３年度は実施していません。

（４）広報部会

開催日	内容
令和３年 ４月　７日	福祉りゅうおう NO.132 号（５月発行）について検討
７月　９日	福祉りゅうおう NO.133 号（８月発行）について検討
１０月　８日	福祉りゅうおう NO.134 号（11 月発行）について検討

令和４年 １月　７日	福祉りゅうおう NO.135 号（２月発行）について検討

■役職員研修会の実施

（１）役員研修

新型コロナウイルス感染症拡大により実施しませんでした。

（２）職員内部研修会の実施

開催日	内容
令和４年 ２月　３日	健康教室 （正しい睡眠で仕事パフォーマンス向上～睡眠改善セミナー～）
令和４年 ３月　８日	人権学習

（３）局内会議の実施

開催頻度	会議名称
２週に１回	進捗会議（部門間連携を行い、情報共有と進捗状況の把握）
月２回程度	地域シェア会議（地域福祉事業の運営協議）
毎月１回	ヘルパー会議（訪問介護事業の運営協議）
毎月１回	こどもひろばスタッフ会議（こどもひろばの運営協議）
毎月１回	生涯現役事業内部会議

（４）研修会への参加

開催日	研修会の名称（内容）
令和３年 ６月１３日	福祉レクリエーション・ワークショップ出前講座
７月２１日	災害ボランティアコーディネーター基礎研修
７月２９日	生活支援コーディネーター基礎研修
８月２０日	令和３年度重層的支援体制整備事業にかかる研修会
９月１３日	福祉レクリエーション「この指・とまれ」による出前講座
１０月２２日	竜王町介護職員キャリアアップ研修会
１１月１４日	福祉レクリエーション「この指・とまれ」
令和４年 ３月１０日	令和３年度第２回重層的支援体制整備事業にかかる研修会

２．安定した事業財源の確保

■会員・会費の充実

（１）一般会員の加入促進

自治会の協力のもと、一般会員の募集を行い、事業財源の確保と地域福祉活動の充実を目指しました。

	令和３年度	令和２年度	令和元年度
一般会費（世帯 1,000 円）	1,318,365 円	1,292,916 円	1,317,922 円

（２）賛助会員・特別会員の加入促進

企業、商店、個人の皆様に対し、協力依頼を行いました。令和２年度は中止をした訪問による協力のお願いを令和３年度は、実施しました。

賛助会費、特別会費は一般会費とともに社会福祉協議会の重要な自主財源であるため、安定的な運営を行っていけるよう、賛助会員、特別会員への協力を依頼していきます。

また、使い道を明らかにし、協力が得られるよう努めていきます。

		令和３年度	令和２年度	令和元年度
賛助会員	企業・商店	106 件（243,000 円）	51 件（119,000 円）	118 件（294,000 円）
（2,000 円以上）	個人	29 件（ 74,000 円）	29 件（ 85,000 円）	38 件(104,000 円)
特別会員	企業・商店	36 件（515,000 円）	32 件（465,000 円）	40 件(515,000 円)
（10,000 円以上）	個人	10 件（100,000 円）	8 件（ 80,000 円）	7 件（ 70,000 円）
合　　計		932,000 円	749,000 円	983,000 円

■事業財源の募集

（１）助成金の活用

社協が直接受ける助成金はありませんでしたが、地域を対象とした助成金を紹介し、地域内での小地域福祉活動の充実を図りました。

（２）広報広告の活用

例年、広報の広告を募集してきましたが、令和３年度は行いませんでした。

（３）入れ歯リサイクル事業

不要になった入れ歯を町内の歯科・病院などで回収していただき、リサイクル業者に依頼していますが、ある程度まとまった数になった時に業者に依頼するので、令和３年度は依頼していません。

■善意銀行の管理・運営

（１）善意銀行運営委員会

開催日	内容
令和３年 ５月１７日	経理状況の報告 自治会等へのパーテーション助成について
令和４年 ３月　２日	多子養育支援金の助成について

（２）災害時等の支援に要する費用の管理

災害時に備えた費用の準備と必要時の活用のため、寄附の一部を継続的に預金、管理しています。

３．地域福祉活動計画の進行管理

（１）地域福祉活動計画の進行管理

地域福祉活動計画の進行管理は、地域福祉推進部会で進行管理を行っています。

４．地域づくり

■小地域福祉活動の推進

（１）小地域支え合いの「近助」体制づくり

社会福祉協議会は、大規模災害時等の避難行動支援などを見据えた、日頃からの近所同士の関係づくりを進める「近助」体制づくりを小地域福祉活動の柱として推進してきましたが、令和３年度もコロナ禍の影響により各地域に出向いていくことが少なく、積極的な支援を行ったとはいえない状況でした。

令和４年度は、各地区担当が積極的に地域と連絡と取りあうとともに地域に出向き、近助事業に取り組んでいきます。

近助事業実施地区（９地区）
山中・七里・橋本・西横関・美松台・新村・岩井・川守・林
近助事業体制整備地区（５地区）
小口・弓削・山面・西川・駕輿丁
近助事業体制づくりアプローチ（１地区）
西出

（２）福祉委員会活動の支援

ふくしだよりを発行し、各地区福祉委員会の活動状況や活動助成のお知らせ等を掲載し、情報提供を行いました。

福祉委員会は３１地区に設置されており、その活動に対する支援として福祉委員会への助成を行いました。

福祉委員会活動は各地区の地域福祉活動の基盤となるものなので、令和４年度以降も連携をとって活動の支援を行っていきます。

①地区への助成	２７地区
②ふくしだよりの発行	１０月に発行。各地区福祉委員会の活動状況、おんらいん交流会の報告や助成事業の案内等を掲載し、自治区長、福祉委員、民生委員児童委員へ配布しました。
③地区活動の支援	綾戸福祉委員会（４月２４日） ・小地域福祉活動、福祉委員会活動について ・コロナ禍での活動 小口福祉委員会 〈６月１９日〉 ・小地域福祉活動、福祉委員会活動について ・コロナ禍での活動 〈１０月１６日〉 ・ZOOM によるオンラインサロンの開催

（３）福祉関係三者研修・福祉委員等交流会

毎年、各地区の小地域福祉活動の推進者である自治会長、民生委員児童委委員、福祉委員の方々をはじめとする福祉委員構成員が協力して取り組みを進められるよう、三者を対象とした研修会を実施していますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から集合研修を取りやめ、資料配付のみ行いました。

コロナ禍において、集合研修にかわる取り組みとして、福祉委員等交流会を令和２年度に引き続きオンラインで開催しました。コロナ禍でどの地区も活動が中断していることで、これまで参加されていた高齢者の方を気にかける言葉が聞かれました。

オンライン交流会のための Zoom アプリ使い方説明会も交流会前に３回行い、初めての方にも参加しやすいオンライン交流会をめざしました。

新型コロナウイルス感染症の予防の観点から密になる集合研修が難しい場合の研修の取り組み方として会場に集まる研修として２年続けてオンラインによる交流会を開催しましたが、参加者の伸び悩みがありました。集合研修も含めた開催方法を検討する必要があります。

〈Zoom 使い方説明会〉

開催日	開催場所	参加者
令和３年　８月　３日	弓削ふれあいプラザ	１人
８月１８日	鵜川ふれあいプラザ	１人
８月２１日	鵜川ふれあいプラザ	４人

〈福祉委員等交流会（オンラインによる交流会)〉

開催日	内容	参加者
令和３年 ９月４日	①ウイルス感染対策を考慮した住民同士のつながりづくり ②情報交換	８人

（４）地域福祉ブロック別懇談会

例年、３ブロック程度に地域分けを行い、地域の課題等を話し合う懇談会を開催してきましたが、令和３年度は「途切れることにない小地域福祉活動を目指して」をテーマに新型コロナウイルス感染症対策をとり、回数を５回に増やして実施しました。

開催日	参加地区	内容
令和３年 １１月２５日	田中・鵜川・駕輿丁 川上・信濃・庄・島	グループ懇談 福祉委員会などの地域福祉を推進する組織の課題について ①各地区の地域福祉課題について ②課題解決に向けた取組みや活動について ③その取組みや活動を行う組織について
１１月２６日	七里・岩井・山面 新村・林	
１１月３０日	薬師・弓削・橋本・ 綾戸・山中・小口・ 西川	
１２月　２　日	東出・須恵・川守・ 西横関・西山・西出	
１２月　７　日	美松台・松が丘・ 希望が丘・松陽台・ さくら団地・岡屋・ 鏡	

（５）居場所づくりの支援

誰でも気軽に立ち寄れ交流ができる地域の縁側（居場所）づくりとしてのコミュニティカフェの取り組みは、７地区で実施されました。（令和２年度は５地区）社協の「えんがわ」は年間中止しました。

善意銀行の助成により感染防止対策のためのパーテーションを希望する地区に助成しました。

新型コロナウイルスの感染防止の観点から、コミュニティカフェの自粛や開催見送りなどの対応を行った地区がほとんどで、再開された地区でも再度中止をするなど、開催地区でも感染状況応じた対応をされていました。

（６）物品貸出

研修用機材の貸し出し、レク用品、イベント用品の貸し出し

令和３年度	令和２年度	令和元年度
レク用品貸出　１９件	レク用品貸出　２１件	レク用品貸出　４０件
イベント用品貸出　２件 綿菓子　２件	イベント用品貸出　４件 綿菓子機　２件 ポップコーン機２件	イベント用品貸出　２１件 鉄板一式など　２件 かき氷機　１件 綿菓子機　９件 ポップコーン機　９件
紅白幕　３件（16枚）	紅白幕　４件（１２件）	紅白幕　７件（24枚）

（７）見守り配食事業

例年、ボランティアの協力により年５回、季節ごとのお弁当を作っていただき、民生委員児童委員を通じて一人暮らし高齢者の方に配食をしています。

また、民生委員児童委員から見守り状況の報告を受け、地域包括支援センターに情報共有を行い、一人暮らし高齢者の支援等について確認しました。コロナ禍において、見守りだけでなく、一人暮らし高齢者への情報発信などにも積極的に取り組んでいく必要があります。

実施日	内容	対象者
令和３年 ６月５日	・お弁当のお届け（調理協力：魚英）	８４人
９月１１日	・１００人文通プロジェクト ・お弁当のお届け（調理協力：八幡屋）	８４人
１１月２０日	・お弁当のお届け	８６人
	・杉本バラ園さんからのバラをお届け	９４人
令和４年 １月１５日	・１００人文通プロジェクト	８３人
	・お弁当のお届け	８８人
３月　５日	・いつまでも元気クラブから小物入れのプレゼント ・お弁当のお届け	８２人

（８）地域カルテを活用した支援

地域への訪問記録を毎回作成し、その際知り得た地域の実態を事務局内で共有し、地域課題を抽出しました。

（９）職員のスキルアップと情報共有のための学習会や会議の開催

必要時に事例検討会を開催し、情報の共有を行い、社協全体で改題解決に向けた検討を行いました。

■地域福祉コーディネーターの設置・充実

地域の福祉課題に対し、地域の関係者と専門職で連携を図りながら、解決策を考えていくため、地域福祉コーディネーターおよび地域福祉推進員を設置しました。

地域福祉コーディネーターが８月で退職し、新たな職員採用が行えず欠員のままとなりました。

（１）課題への早期対応・予防

地域住民や福祉関係者の困りごとについて、適切な相談機関へスムーズにつながるよう支援しました。

（２）アウトリーチによる相談支援体制の強化

地域に出向き、地域住民との関係を築き、制度の狭間に陥ったり、支援につながりにくいケースをキャッチするよう取り組みました。地域福祉推進員が町内各地区を分担し、福祉委員会活動や自主活動グループの活動状況の把握とともに担い手との交流や相談支援に努め、地域の個別課題の把握も行い、必要に応じて関係機関と連携しました。

令和３年度は重層的支援体制整備事業において、アウトリーチ等を通じた継続的支援が重視され、地域との関係をより築き、関係機関との連携を深め、相談体制を強化に努めました。

（３）住民主体の活動支援

各地区で取り組まれている住民主体の活動が推進されるよう各地区の取り組みを紹介するとともに活動者の繋がり、連携をとりながら支援を行いました。

身近な地域での福祉活動の重要性が高まっており、支援していきます。

	令和３年度	令和２年度	令和元年度
訪問実績合計	**５４件**	４２件	９２件

地域福祉活動に関する相談	**１００件**	６２件	７１０件

〈地域福祉活動に関する相談の内容（１００件の内訳)〉

相談内容	相談件数	相談内容	相談件数
福祉委員会	１５件	助成金	７件
集いの場	３３件	近助事業	２件
コロナ禍での活動	２２件	子ども食堂	２件
見守り活動	５件	福祉学習	３件
ボランティア	５件	その他	６件

（４）社会福祉法人の公益的取り組みに向けた活動

竜王町内の社会福祉法人（万葉の里、やまびこ作業所、ひまわり保育園および社会福祉協議会）が公益的取り組みについて協議を行いました。

コロナ禍が続く中で、地域と関わりのある取り組みに影響が大きく出ているとの意見が出されました。

また、情報交換では、人材不足のなかで、需要は高まっているが、サービス提供ができない状況があるとの意見が出されました。このことは、各施設共通の課題であるとのことでした。

開催日	内容
令和３年 １１月１８日	コロナ禍における地域と連携した取り組みについて 情報交換

（５）企業・商店等とつながる仕組みづくり

生活支援コーディネーターと連携して、企業・商店とつながり、高齢者を支える仕組みや体制づくりを計画しましたが、実施することができませんでした。

５．地域を支える人づくり

■ボランティアセンター機能の充実

（１）センター機能の強化

ボランティアセンターとして、日常的なボランティア相談・登録・斡旋に加え、連絡調整を行いました。

地域での会食やイベントが自粛され、ボランティアの連絡調整数が大幅に減少しました。

福祉教育については、小学校での福祉学習が充実したことと次年度に向けた協議もあり増加しました。

相談内容	ボランティア派遣	福祉教育	その他
令和３年度	**４件**	**２６件**	**１７件**
令和２年度	１３件	２８件	１７件
令和元年度	１７４件	１６件	１４件

（２）ボランティア活動の啓発

事務所前に設置したボランティアコーナー（掲示板）やホームページを活用し、身近なボランティア情報を提供したり、ボランティア保険の加入促進等に努めました。

また、年４回発行の「福祉りゅうおう」に「ボランティア通信」を掲載しました。

	活動保険	行事用保険
令和３年度	**７７８人**	**１件**
令和２年度	７４６人	１０件
令和元年度	８１４人	２９件

（３）福祉教育の推進

町内の小中学校に対し、福祉体験の指導や講義などで総合学習などにおける支援を行いました。

令和３年度は、「こんにちは、民生委員です」と題し、竜王中学校３年生で民生委員児童委員の方々を講師として招き、地域の課題や現状を知る福祉学習を実践しました。また、小学校においては、福祉施設と連携した福祉学習も取り入れることができました。

引き続き、地域福祉に視点を置いた福祉学習に取り組んでいきます。

〈竜王小学校〉

実施日	内容
令和３年１０月１２日	聴覚障がい者の方の理解・手話体験
１０月１９日	車椅子体験

１０月２１日	視覚障がい者の方の理解・点字体験
１０月２６日	高齢者・認知症の理解
１２月１４日	一人暮らし高齢者の理解・おたよりボランティア

〈竜王西小学校〉

実施日	内容
令和３年　６月２２日	車椅子体験
７月　５日	視覚障がい者の方の理解・点字体験
９月２１日	聴覚障がい者の方の理解・手話体験
１０月　８日	高齢者・認知症の理解
１０月１５日	やまびこ作業所の職員さんによる学習
１２月１４日	一人暮らし高齢者の理解・おたよりボランティア

〈竜王中学校〉

実施日	内容
令和３年　６月２５日	生徒会との情報交換会
１０月１３日	「こんにちは、民生委員です」～地域の課題を知ろう～
令和４年　２月２４日	小地域福祉活動について

（４）プチどら★にこにこプロジェクト

コロナウイルス感染症拡大の影響により高齢者施設の訪問ができませんでしたが、オンラインを利用して施設側と親子の交流を行い、双方共に喜んで頂ける結果となりました。

幼少期からの福祉体験や高齢者との交流をとおして福祉の心を育む場となることから引き続き実施していきます。

（５）福祉講座・研修会の企画運営

コロナウイルス感染症拡大の影響により当初企画していたレクリエーション交流会およびボランティアの交流新年会を中止としたほか、随時実施予定の各種講座についても開催することができませんでした。

（６）シニア世代の地域活動への参加の促進

シニア世代対象の地域活動講座を竜王町公民館と企画し、広報誌への掲載のほか、DM による募集を行いましたが、参加申込者が少なく中止しました。

（７）災害ボランティアセンターの体制づくり

令和３年度については、コロナ禍により設置、運営訓練を行うことができませんでした。

災害ボランティアセンター設置・運営については、竜王町防災計画に基づき、その設置、運営が行われますが、平常時から行政と連携、協力して体制を整えていくことが求められます。そのための協定の締結が国から示されていますので、協定締結に向けて準備を進めていきます。

６．仲間づくり・生きがいづくり

■各種サロン・講座の開催

（１）生涯現役事業「いつまでも元気クラブ」

鏡、弓削、鵜川ふれあいプラザで概ね６０歳以上の方を対象に、介護予防を目的とした生涯現役事業や趣味活動、健康維持、仲間づくり、ボランティア活動など様々な活動を実施しました。

また、参加者を増やす取り組みとして、町内４か所で啓発のためのチラシ配布を行い、新しい参加者につなげることができました。

２か月に１回福祉課と会議を持ち、取り組み状況や方向性について協議を行いながら事業を推進しました。［詳細はＰ２９・３０］

（２）いきいき趣味活動（高齢者趣味活動）

ふれあいプラザにおいて、書道教室、編物手芸教室の講座を実施しました。コロナ禍のため、カラオケサロン、健康料理教室の各講座は実施しませんでした。

	書道教室	編物手芸教室	カラオケサロン	健康料理教室	合計
令和３年度	**鵜川 12回/125人 岡屋 12回/ 85人**	**弓削 13回/53人 鏡 12回/79人**	**－**	**－**	**４９回／342人**
令和２年度	２４回／233人	２５回／150人	－	－	４９回／383人
令和元年度	２２回／202人	２２回／165人	54回／352人	22回／211人	120回／930人

（３）こどもひろば

未就園児とその保護者を対象に下記の内容で親子の交流や各講座を通じて子育ての不安等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援しました。

保健センター２階において月曜日から金曜日まで週５回開催しました。

令和３年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催の中止、参加人数の制限やYouTubeの配信など例年とは異なる取り組みとなりました。

様々なイベントは10組～15組と制限し、密を避けるため鏡ふれあいプラザで行いました。

	開催日数	参加者数
令和３年度	**192日**	**延べ5,858人（保護者2,621人　子ども3,237人）** **8/27～9/30　1/31～2/18・2/28～3/4開催中止**
令和２年度	218日	延べ3,899人（保護者1,791人　子ども2,108人） 4/22～30開催中止　５月はオンラインひろばを開催
令和元年度	215日	延べ5,240人（保護者2,294人　子ども2,946人） ３月、新型コロナウイルス感染防止のため中止

〈活動・支援内容〉

①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
○自然と親しむ事業 花の苗植え　朝顔の種まき　芋ほり　どんぐり拾い　おさんぽデー ○親のリフレッシュ 子ども服リサイクル ○遊びの工夫 季節の遊び講座（こいのぼり作り　七夕飾り　水遊び　クリスマス会 お正月遊び　豆まき　ひな祭り会）
②子育てに関する相談・支援
○こどもひろば開催時にスタッフによる相談　子育て世代担当者会議
③地域の子育て関連情報の提供
○「こどもひろばだより」の発行 ○各種セミナー等の案内 ○フェイスブック、ホームページ、ＬＩＮＥの活用
④子育ておよび子育て支援に関する講習等の実施
歯のおはなし　児童虐待防止講座　精神保健講座　応急手当講座 食育講座　おはなしタイム　ミュージック・ケア　ベビーマッサージ 子育てお悩み相談室　交通安全教室　トランポビクス
⑤地域の子育て力を高める取り組み（異年齢との交流）
お話サークル「トトロ」
⑥子育て講習会の開催
開催なし

〈学年別ひろば〉

例年、鏡ふれあいプラザで０歳児、１歳児、２歳児の親子ふれあい教室を８月を除く５月から１月に開催しています。

令和３年度はコロナ感染防止のため、９月開催を中止（９月の内容を１月に開催）１月の内容を２月に開催する予定でしたが、新型コロナの感染拡大により中止しました。

	ぴよぴよ（０歳児）	よちよち（１歳児）	わくわく（２歳児）
令和３年度	**７回／　206人** **保護者　96人** **子ども　110人**	**７回／　178人** **保護者　84人** **子ども　94人**	**７回／　157人** **保護者　71人** **子ども　86人**
令和２年度	８回／１７３人 保護者　８３人 子ども　９０人	８回／１７５人 保護者　８４人 子ども　９１人	８回／１６３人 保護者　７４人 子ども　８９人
令和元年度	８回／２２０人	８回／２４０人	８回／１６６人

〈内容〉
友だちづくり　ミュージック・ケア　食育講座　子育てお悩み相談室
手づくりおもちゃ　歯と口腔の講座　運動会ごっこ　お別れ会
フォトフレーム作り　トランポビクス　親子ふれあい遊び

（４）退職シニア世代へのアプローチ

例年、退職シニアボランティア菜の花グループにワンデイシェフえんがわでのコーヒーサービスやこどもひろばへの協力をお願いしていますが、令和３年度はコロナ禍により行うことができませんでした。

■当事者団体への支援

（１）当事者団体支援

視覚障害者友の会、母子福祉のぞみ会、手をつなぐ育成会への資金助成を行いました。

また、上記団体が実施する事業等へ協力を行いました。

（２）一人暮らし高齢者支援事業

例年、６月に交流会、12月にクリスマス会を実施していますが、コロナ禍により実施できませんでした。

７．主体的な活動への支援

■福祉活動団体への支援

（１）福祉団体への支援

自主的に福祉活動を行う老人クラブ連合会をはじめとする福祉団体からの申請に基づき、運営費の一部を助成し、支援を行いました。

町内の小学校、中学校を対象に福祉教育活動に対する助成を行うことで福祉教育の充実に努めました。

８．相談・支援事業の充実

■定期相談の継続・専門相談の充実

（１）心配ごと相談所の開設

①心配ごと相談

住民の身近な相談窓口として、民生委員児童委員、行政相談員、人権擁護委員を相談員として毎月３回心配ごと相談所を開設します。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で８月２３日、９月は実施できていません。

	令和３年度	令和２年度	令和元年度
相談件数	**１３件**	１６件	１２件

〈相談内容〉（相談来所数１つにつき、複数内容の相談あり）

制度説明：２件、親族・家族トラブル：６件、行政：１件、

土地・不動産：４件、近隣関係：４件

〈紹介先〉

行政…５件、社協…４件、弁護士無料法律相談会…４件

②弁護士無料相談会

年４回（６月、９月、１２月、３月)、弁護士による無料法律相談会を実施しました。

	令和３年度	令和２年度	令和元年度
相談件数	**１１件**	１５件	１２件

〈相談内容〉（相談来所数１つにつき、複数内容の相談あり）

相続・贈与：１件、近隣関係：３件、親族・家族問題：２件、離婚問題：３件、金銭貸借：３件、契約トラブル：２件、土地・不動産関係：５件、法人(内)トラブル：２件、行政：１件、制度相談：２件

（２）生活困窮者自立相談支援事業

生活に困窮されている方の自立を促進することを目的として、滋賀県から委託を受け、自立相談支援事業の相談窓口として事業を実施しました。

また、総合支援資金特例貸付との連携により借入申込者の自立相談支援の窓口として対応し、住宅確保給付金の活用や就労状況の確認を行い、情報提供しました。

〈相談受付〉

	令和３年度	令和２年度	令和元年度
新規相談件数	**１７件**	３３件	３件
情報提供や相談対応で終了した件数	**２件**	３件	１件
他の制度や専門機関へつないだ件数	**０件**	２件	２件
支援の同意に向けて対応中の件数	**０件**	０件	０件
総合支援資金特例貸付の対応した件数	**１５件**	２８件	０件

〈支援計画に基づく支援〉

相談者が抱える課題を把握し、その置かれている状況や本人の意思を確認することを通じ、個人の状態にあった支援計画の作成を行う体制をとりましたが、計画作成には至らず、生活保護の申請をされることが多い状況でした。

本制度での対応が難しい状況になるまで相談ができず、より厳しい状況にいたって

から来所される方も多く、住民や関係機関への事業周知を行い、早い段階で潜在化している相談者に繋がっていく必要があります。そのためには、アウトリーチも課題となります。

	令和３年度	令和２年度	令和元年度
支援計画に基づく支援件数	**１件**	０件	０件
新規支援計画作成件数	**１件**	０件	０件
支援計画に基づく支援終了件数	**１件**	０件	０件

（支援終了にあたっては、自立した生活を継続できるよう他制度等による継続支援を実施）

〈支援調整会議への出席〉

ハローワークや就労準備支援事業実施事業所との連携を行いました。

令和３年　４月１９日	・新規相談対応状況 ・相談内容の報告、支援の方向性の検討 ・支援機関の既存の制度や新規制度の情報共有
７月１９日	
１０月１８日	
令和４年　１月１７日	

（３）社会参加の支援

毎月１回、ひきこもり支援検討会議に出席し、関係各課や社協が把握するひきこもりの実態や現状について情報共有し、支援連携体制の構築に向けた協議を行いました。

また、社会参加にしづらさのある方が就労や社会体験の場を提供する仕組みづくりを行いました。

さらに、令和３年度からは東近江圏域の社協が連携し、社会参加につなげる活動について協議し、圏域として取り組める事業の検討を進めています。

（４）一時的に食糧がない方への支援

一時的に食べるものがない方に対して、善意銀行からの助成を受けて購入した食料品を活用し食糧支援を実施しました。

令和３年度支援世帯：１０世帯

■福祉サービスの実施および利用支援

（１）生活福祉資金貸付制度の利用支援

滋賀県社会福祉協議会が実施している生活福祉資金貸付事業の相談窓口として事業を実施しました。「生活福祉資金貸付制度」は、低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えるとともに、社会参加等の促進を図ることを目的とした貸付制度です。総合支援資金、福祉資金の相談に来所された方については、それぞれにあった制度につなげました。

不動産担保型生活資金については、前年度末に申請書を提出し令和３年度に貸付決定が決まりました。

貸付に至らなかった主な理由は、行政からの相談、給付金と勘違い、貸付対象ではないため別の制度に繋げた等があります。

		令和３年度	令和２年度	令和元年度
総合支援資金	延べ相談	**7 件**	１件	０件
	新規貸付	**0 件**	０件	０件
福祉資金	延べ相談	**3 件**	３件	４件
	新規貸付	**0 件**	０件	０件
教育支援資金	延べ相談	**0 件**	０件	０件
	新規貸付	**0 件**	０件	０件
不動産担保型生活資金	延べ相談	**0 件**	１件	０件
	新規貸付	**１件**	０件	０件

令和３年度も令和元年度末から続く新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方を支援する緊急小口資金、総合支援資金の特例貸付の相談、申請の窓口として対応しました。

総合支援資金特例貸付は、生活困窮者自立相談支援事業と連携して対応しました。

貸付相談者は、「派遣職員」「契約職員」が半数以上を占めました。

貸付に至らなかった主な理由は、貸付対象ではない（仕事に対する融資依頼）、申請者の生活拠点が県外、上限まで借りた後の再申請、申請期限切れ等があります。

		令和３年度	令和２年度	令和元年度
緊急小口資金特例貸付	延べ相談	**25 件**	８８件	３件
	新規貸付	**19 件**	５８件	０件
総合支援資金特例貸付	延べ相談	**17 件**	３６件	０件
	新規貸付	**16 件**	３６件	０件
総合支援資金特例貸付（延長貸付）	延べ相談	**7 件**	１９件	－
	新規貸付	**7 件**	１７件	－
総合支援資金特例貸付（再貸付）	延べ相談	**21 件**	１７件	－
	新規貸付	**18 件**	１６件	－

※総合支援資金特例貸付（延長貸付）は、令和３年６月末で受付終了。
※総合支援資金特例貸付（再貸付）は、令和３年１２月末で受付終了。

（２）地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）による相談

認知症等高齢者、知的障がい者、精神障がい者で判断面に不安のある方が日常生活を安心して暮らせるよう、福祉サービスや行政手続きを本人と同行または代行して行ったり、日常生活にかかる費用の金銭管理、書類等の預かりを行い、本人の自立を支える支援を行いました。

〈令和３年度の状況〉

	認知症高齢者等	知的障がい者	精神障がい者	その他
相談援助件数	２７５件	３８８件	１５３件	０件
新規契約件数	０件	１件	０件	０件
終了契約件数	２件	０件	１件	０件
現在契約件数	３件	１０件	３件	０件

終了件数内訳：

死亡１人（認知症高齢者１人）

成年後見制度への移行１人（認知症高齢者１人）

他市町への転居１人（精神障がい者１名）

〈年度別契約件数〉

	令和３年度	令和２年度	令和元年度
契約件数	**１６件**	１９件	２５件

（３）成年後見制度への移行支援

成年後見制度サポートセンターE-SORA や竜王町をはじめとする関係行政機関と連携を図り、地域福祉権利擁護事業利用者で成年後見制度への移行が必要な方について移行の支援を行いました。

令和３年度に移行したケース：１件

権利擁護検討会で相談したケース：１件

９．調査・広報活動の充実

■調査活動

（１）要援護世帯の把握と対応

社会福祉協議会が実施する事業や相談窓口をはじめ、民生委員児童委員、福祉委員等から情報収集を行いました。

重層的支援体制整備事業等を推進するなかで、福祉課や関係機関との情報共有により、支援を必要とする方の把握を行いました。

（２）一人暮らし高齢者・高齢者のみ世帯等の把握

見守り配食事業において、民生委員児童委員が作成したチェックシートにより把握した情報を福祉課と共有しました。

また、歳末たすけあい事業のおせち料理宅配助成を通じた高齢者のみ世帯等の見守りと状況の把握に努めました。

（３）地域のニーズの把握

「ニーズ発見ノート」の活用：職員が常に携帯し、常にアンテナを立てて、情報の収集に努めました。

■広報活動

（１）「福祉りゅうおう」の発行

発行月	内容
５月１日	NO.１３２号　社協活動への住民参加の促進と PR に努めました
８月１日	NO.１３３号　〃
１１月１日	NO.１３４号　〃
２月１日	NO.１３５号　〃

（２）ふくしだよりの発行

小地域の福祉委員過活動の様子や住民の声など福祉委員会活動に役立つ情報を発信しました。

発行月	内容
１０月	おんらいん交流会の報告や上半期の各地区の小地域福祉活動状況をまとめた記事、その他助成金情報や地域活動に関する情報を掲載し、自治区長、福祉委員、民生委員児童委員へ配布しました。

（３）こどもひろば便りの発行

こどもひろば便り「どらんちゅ」を毎月１回発行し、子どもたちの紹介や事業の近況報告、お知らせなどを行いました。

また、参加者の募集や月間の予定を掲載し、参加者の拡大を図りました。

（４）プラザだよりの発行

鏡・弓削・鵜川ふれあいプラザで実施している「いつまでも元気クラブ」（生涯現役事業）の介護予防事業や「いきいき趣味活動」による仲間づくりなどの情報を「プラザだより」として毎月発行し、高齢者の健康維持に役立てていただくため、参加者募集を行いました。

（５）ホームページや SNS による情報発信

ホームページを活用して、地域福祉活動の啓発を図るとともに、住民が円滑に社協の福祉サービスや地域福祉関連の助成制度を利用できるように情報提供や様式をダウンロードできるようにしました。

フェイスブックやＬＩＮＥ公式アカウント等のＳＮＳを随時更新し、社協事業やこどもひろばの月間予定の公開・タイムリーな情報や子育て情報等の発信を行いました。

（６）医療機関のＴＶスライドを通した事業紹介

近隣医院の待合室に設置した広報用ＴＶを活用し、社会福祉協議会の事業紹介や参加者募集を行いました。

（７）公民館の交竜フロアに常設の展示コーナーを設置し、事業の紹介・参加者の募集・講座の案内などを行いました。

１０．その他

■関係機関との連携・支援

（１）関係機関との連携

福祉課をはじめとする行政関係機関、福祉関係施設・団体と連携し、事業を推進するとともに、諸事業への参加協力や活動費等の支援を行いました。

（２）事務局支援

事務局の運営または運営補助を行いました。

〈社会福祉協議会が事務局業務を行っている団体〉

団体名	事務内容等
竜王町共同募金委員会	詳細は共同募金委員会事業報告等参照
日本赤十字社竜王町分区	活動資金の募集と収納事務 赤十字奉仕団との連携
竜王町遺族会	会務の運営
護国社奉賛会	護国社大祭の執行
竜王町民生委員児童委員協議会	企画委員会・定例会の開催 民児協会計処理 多機関との連携サポート

■その他の事業、啓発活動等の実施

（１）共同募金運動の推進

共同募金委員会事務局として募金活動の推進、配分活動の実施や啓発活動を行いました。

要援護世帯、小地域ふれあい事業、福祉団体への事業助成を行いました。

（２）社会を明るくする運動

社会を明るくする運動、青少年健全育成活動に協力しました。７月の強調月間には、のぼり旗、ポスターの掲示等啓発活動を推進しました。

また、町長へ内閣総理大臣メッセージ伝達を行いました。

（３）平和祈念事業

７月３１日に戦没者の慰霊と恒久平和の実現のため、町および社会福祉協議会主催で第１１回竜王町平和祈念式を開催しました。コロナウイルス感染拡大防止のため、出席人数を制限して開催しました。

（４）社会福祉大会の開催

１１月２３日に竜王町公民館大ホールにおいて社会福祉大会を開催しました。令和３年度は、コロナウイルス感染拡大防止のため、式典のみの開催とし、出席者も来賓と受賞者のみに限定して開催しました。

ぬりえ、ポスター、書道については、当日に掲示したほか、12月末まで役場庁舎正面玄関ホールで掲示を行いました。

○社会福祉協議会会長表彰・感謝状の贈呈　表彰２１人（団体）　感謝１人（団体）
○竜王町共同募金委員会会長賞状の贈呈　ぬりえ・ポスター・川柳・書道コンクール
　ぬりえの部（４歳児・５歳児）　　ポスターの部（小学生）
　書道の部（小学生）　　川柳の部（中学生・一般の部）　　各最優秀賞　優秀賞
○滋賀県共同募金委員会会長表彰・感謝状の伝達表彰　表彰１団体　感謝１団体

１１．在宅サービスの充実

■介護保険サービスの実施

（１）訪問介護事業

要介護状態の利用者の方が安心して在宅での生活が継続できるよう、身体介護、生活援助、通院等乗降介助の提供を行いました。

特に一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加、障がい者の地域移行が進む中、社会福祉協議会の地域福祉権利擁護事業等との連携を図りながら、安心して在宅生活が送れるよう提供を行いました。

	令和３年度	**令和２年度**	令和元年度
利用者（延べ）	**2,026人**	**1,664人**	2,417人
月平均	**168人**	**138人**	201人
通院等乗降介助	**122回**	**80回**	121回
月平均	**10回**	**6回**	10回

（２）介護予防・日常生活支援総合事業

専門的なサービスを必要とする要支援状態の利用者の方が自立した生活が送れるよう、身体介護、生活援助の提供を一緒に行いました。

	令和３年度	**令和２年度**	令和元年度

利用者（延べ）	１４人	０人	２５人
月平均	１人	０人	２人

（３）介護保険外サービス事業

介護保険制度の対象サービスで対応できない方の介護サービスの提供を行いました。

	令和３年度	令和２年度	令和元年度
提供回数	7回	０回	３回

（４）利用者負担減免の実施

介護保険サービスの利用者で低所得者世帯の方に対して、利用料金の一部負担を行うことにより利用を支援しました。

	令和３年度	令和２年度	令和元年度
利用者（延べ）	１２人	１２人	１２人
月平均	１人	１人	１人

■障がい福祉サービスの実施

（１）居宅介護事業

障害者総合支援法による、身体介護、家事援助、通院介助などの訪問介護サービスを提供しました。

	令和３年度	令和２年度	令和元年度
利用者（延べ）	1,593人	1,548人	1,355人
月平均	132人	129人	113人
通院介助	55回	28回	１回
月平均	6回	２回	－

（２）重度訪問介護事業

常時、介護が必要な障がい児・者に対して、継続的なサービスを提供するものですが、サービスの提供はありませんでした。

（３）同行援護

視覚障がい者の方の移動時及びそれに伴う外出先において必要な移動の提供をさせていただきました。

	令和３年度	令和２年度	令和元年度
利用者（延べ）	３９人	３９人	２１人
月平均	３人	３人	２人

（４）地域支援事業

町の地域支援事業による移動サービスを提供しました。

	令和３年度	**令和２年度**	令和元年度
利用者（延べ）	**１３８人**	１２６人	５８人
月平均	**１１人**	１１人	５人

（５）社会参加促進事業

タクシー運賃助成券の利用により、社会参加を促進しました。

	令和３年度	**令和２年度**	令和元年度
助成券利用枚数	**１２４枚**	**１３６枚**	１１５枚

■車椅子の貸し出し

（１）福祉用具与事業

他制度、他施策で貸与や支給が受けられない方を対象に在宅生活において、車椅子が必要な方に対して無料で貸し出しを行ました。

福祉用具の在庫管理・メンテナンス等を行いました。

	令和３年度	令和２年度	令和元年度
貸出件数	**・車椅子** **３３件（５７台）** **内、長期貸出(１年間)** **６件（７台）** **・スロープのみの** **貸出　１件**	１８件（３８台）	２９件（５３台）

１２．介護予防への取り組み

■介護予防拠点施設の管理・運営

（１）プラザの管理

鏡、弓削、鵜川の３ふれあいプラザを竜王町からの指定管理制度により管理を行いました。

プラザ名	実施日	内容
清掃・点検（メンテナンス）		
３施設	随時	日々の清掃（社協職員）
	年末に 分散して実施	年末大掃除
	令和４年 ２月３日	消防設備点検
	令和４年 ３月１８日	カーペット洗浄
弓削	年３回	除草（シルバー人材センター２回・職員１回）

鏡	年３回	除草（シルバー人材センター３回）
修繕・交換		
鵜川	８月５日	身障者用トイレ手洗い交換修理
弓削	令和４年 １月 27 日	通用口のタイル修理
鏡	10 月 29 日 令和４年 １月 28 日	男子トイレ小便器修理 調理室横洗い場修理
その他		
３施設	７月２１日 ８月３日 ８月５・６日	鵜川　有線放送設備撤去 弓削　有線放送設備撤去 鏡　有線放送設備撤去
鏡	８月１５日 １１月２９日 １２月　３日	多目的室センサー/雨漏りのため取り外し 〃　/再設置 蜂の巣駆除

（２）プラザの運営

介護予防、地域交流、ボランティアの活動場所として活用されるよう運営を行いました。

令和３年度も、コロナウイルス感染拡大により利用者が大きく減少しましたが、令和２年度よりは少し持ち直してきました。

〈年間総利用人数〉

	令和３年度	**令和２年度**	令和元年度
鵜川プラザ	191 回／2,087 人	**164 回／1,775 人**	269 回／3,863 人
弓削プラザ	123 回／1,574 人	**116 回／1,295 人**	142 回／1,851 人
鏡プラザ	157 回／1,908 人	**134 回／1,534 人**	166 回／2,444 人

①生涯現役事業

「いつまでも元気クラブ」（生涯現役事業）の実施

町から介護予防事業として委託を受けている生涯現役事業は、鵜川、弓削、鏡ふれあいプラザを会場に概ね６０歳以上の方を対象に多様な活動を開催しました。

令和３年度は、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら実施を行うとともに、インスタライブにて料理講座を開催し、新たな取り組みも行いました。

〈令和３年度活動別参加者数（プラザ別）〉

	鵜川プラザ	弓削プラザ	鏡プラザ	その他
余暇活動	11 回／53 人	－	20 回／ 96 人	
交流活動	20 回／80 人	－	１回／０人	
運動機能向上	46 回／568 人	37 回／301 人	32 回／ 126 人	
文化活動	30 回／174 人	37 回／358 人	22 回／177 人	
自学自習	43 回／325 人	10 回／65 人	17 回／73 人	10 回／96 人

ボランティア活動	－	－	23回／ 92人	3回／6人
合計（令和３年度）	**150回／1,200人**	**84回／724人**	**115回／564人**	**13回／102人**
令和２年度	132回／1,031人	70回／604人	93回／496人	マスくる活動81人
令和元年度	234回／2,597人	92回／717人	82回／507人	

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8/27～31および９月は中止）

〈令和３年度の実施状況〉

活動名	実施内容
余暇活動	・ミニ卓球でラリー　・音楽で気分転換
交流支援	・思い出めぐり（回想法）・しめ縄技法を学ぼう・介護の集い ・エコな小物づくり・毛糸で小物づくり・パソコンで交流 ・パイナップル編みのベスト・インスタライブで料理を学ぼう
運動機能向上	・DVDヨガ体操　・いきいき健康体操　・健康リズム体操 ・ゆったりヨガ　・ミュージック・ケア　・にこにこ体操 ・笑顔で伸ばそう健康寿命
文化活動	・パッチワーク　　・ミシン講座 ・音読オンライン講座　・折り紙を楽しもう
自学自習	・大人の寺子屋「漢字と計算、そろばん、大人のぬり絵、雑学、計算とクイズ」　・認知症予防講座　・相続・遺言講座 ・食品ロスを減らす身近な工夫・食生活と栄養講座・脳トレレクリエーション・筆文字講座・歯と口腔の健康・初めての農園活動・整理収納講座・パソコンのすすめ
ボランティア活動	・日曜大工（飛び出し人形制作）・ミシン講座で小物入れを作成し、一人暮らし配食事業で配布・初めての農園活動（土づくりや除草作業）・プランターに花の苗を植えよう
その他	バザーの設置（鵜川ふれあいプラザ）

②いきいき趣味活動

「いきいき趣味活動」（高齢者趣味活動）の実施

高齢者自らが寄り集い、活動を通じて交流を深め合い、地域に持ち帰って地域の仲間づくりへと発展していける講座の開催に努めました。

〈受託している３プラザでの実績〉

	教室数	延べ開催回数	延べ参加者人数
鵜川プラザ	**１**	**１２回**	**１２５人**
弓削プラザ	**１**	**１３回**	**５３人**
鏡プラザ	**１**	**１２回**	**７９人**
合計（令和３年度）	**３**	**３７回**	**２５７人**
令和２年度	３	３７回	２９７人
令和元年度	６	７６回	６１３人

③こどもひろばの開催

学年別ひろばを鏡ふれあいプラザで、出張ひろばを弓削ふれあいプラザで開催しました。

〈出張ひろばの開催〉

令和３年度		令和２年度	令和元年度
開催場所	開催回数／人数	開催回数／人数	開催回数／人数
弓削ふれあいプラザ	21回／５０７人 保護者　２２０人 子ども　２８７人	３１回／４５４人	３１回／７９８人
鏡ふれあいプラザ (12/13は午前のみ)	８回／３６７人 保護者　１６７人 子ども　２００人		

（３）貸館事業

〈貸館事業実績　上段：利用件数　下段：延べ利用人数〉

	鵜川プラザ	弓削プラザ	鏡プラザ
竜王町（選挙含む）	２	１	－
	１１	１７	－
町事業委託先事業所	－	－	－
	－	－	－
関係福祉団体	－	－	－
	－	－	－
自治会	１	－	－
	４０	－	－
その他	３	－	－
	２５０	－	－
合計（令和３年度）	**６件**	**１件**	**０件**
	３０１人	**１７人**	**０人**
令和２年度	４件／２３２人	０件／　０人	４件／　６１人
令和元年度	７件／２５９人	１件／１０３人	２５件／６０６人